

I

農業農村整備をめぐる動向

1. 沖縄県内の動向
2. 国の動向
3. 国と県の施策対照表

I. 農業農村整備をめぐる動向

1. 沖縄県内の動向

本県の農業農村分野においては、これまで4次にわたる沖縄振興計画等によりさまざまな施策を推進してきた結果、農業生産基盤及び農村生活基盤が着実に整備され、農業農村の振興に寄与してきた。今後も、本県の農林水産業の振興を図るため、亜熱帯・島しょ性の地域特性に適合する生産基盤整備を推進する必要がある。併せて、本県の離島を中心に農業従事者の減少・高齢化が進行しており、農村を活性化させる取組が必要である。

本県では、沖縄の振興を図るため、県独自で「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を策定し、また、農林水産業の振興を推進するため「沖縄21世紀農林水産業振興計画」を策定したところである。

振興計画では、「持続的農林水産業の振興」と「フロンティア型農林水産業の振興」を目標に7つの柱の基本方向を設定しており、農業農村分野では、「農林水産物の安全・安心の確立」「農林水産業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化」「亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備」「フロンティア型農林水産業の振興」に関する施策を展開していく。

沖縄21世紀ビジョン（沖縄振興計画）における位置付け

沖縄21世紀ビジョン基本計画（計画期間（平成24年～平成33年：10年間））

目標

沖縄の特性を発揮し、日本と世界を結び、アジア・太平洋地域の平和と発展に貢献する先駆的地域を形成し、経済情勢を踏まえた自立的発展の基礎条件を整備し、我が国の発展に寄与する新生沖縄を創造するとともに、自然や文化などよき沖縄の価値を高めていく再生沖縄に取り組み、下記に掲げる5つの将来像の実現及び4つの固有課題の解決を図り、「時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな『美ら島』おきなわ」を実現すること。

県民が描く5つの将来像

- ・沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
- ・心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- ・希望と活力にあふれる豊かな島
- ・世界に開かれた交流と共生の島
- ・多様な能力を発揮し、未来を拓く島

4つの固有課題

- ・基地問題の解決と駐留軍用地跡地利用
- ・離島の不利性克服と国益貢献
- ・海洋島しょ圏、沖縄を結ぶ交流ネットワークの構築
- ・地方自治拡大への対応

沖縄21世紀ビジョン実施計画（計画期間（平成24年～平成33年）：前期5年・後期5年）

分野別：沖縄21世紀農林水産業振興計画（計画期間平成24年～平成33年：前期5年・後期5年）

農林水産業振興計画の目標と農業農村整備事業の役割

（目標）

おきなわブランドの確立や生産供給体制の強化、観光・リゾート産業と連携したグリーン・ツーリズム等の推進など下記の7つの柱を基本に各種施策を選択的かつ集中的に展開することによって、「持続的農林水産業の振興」及び「フロンティア型農林水産業の振興」を図ることとする。

- 基本方向
- ①おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化
 - ②流通・販売・加工対策の強化
 - ③農林水産物の安全・安心の確立
⇒赤土等流出防止対策の推進
 - ④農林水産業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化
⇒担い手の育成・確保及び農地の有効利用の促進
 - ⑤農林水産技術の開発・普及
 - ⑥亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備
⇒農業生産基盤整備の促進、農地及び農業用施設の保全
 - ⑦フロンティア型農林水産業の振興
⇒農山漁村地域の多面的機能の拡充及び6次産業化の推進

農業農村整備事業の役割